

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：20-150

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：大腸癌ステージIVのR0切除術後再発リスク因子の抽出および最適フォローアップの検討

・目的：大腸癌は、そのおよそ10-20%において同時性遠隔転移を認めている。遠隔転移の中でも肝転移および肺転移については、切除可能なものは切除が勧められ、転移巣切除術後の5年全生存率30-50%が見込めるようになってきたものの、その後のフォローアップおよび治療方針についてはまだ不明確である。そこで当院において、大腸癌ステージIVに対しR0手術を施行できた症例のその後の再発状況を後方視的に検討し、その再発リスク因子や時期を抽出することで、R0手術後の適切なフォローアップ体制について明らかにする。

・研究期間：臨床研究IRB承認日～2023/3/31

・研究対象：2007/4/1～2015/12/31

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

：年齢、性別、術前CEA値、BMI、術前合併症の有無、癌占居部位、術式、郭清度、手術時間、出血量、深達度、組織型、リンパ節転移、遠隔転移、病理学的ステージ、術後合併症、輸血、白血球数、好中球数、総リンパ球数、ヘモグロビン、アルブミン、CRP、術前および術後化学療法の有無と内容、再発の有無と再発部位および時期、再発後治療内容、生存期間

② 利用する者の範囲

：消化器外科 助教 近藤宏佳

③ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：消化器外科 助教 近藤宏佳